

平成18年3月期 決算説明会

平成18年5月17日

 株式会社 **DTS**
DTS <http://www.dts.co.jp/>

目 次

1. 平成18年3月期決算の概要
2. 中期総合計画と平成19年3月期の計画

本資料についてのご注意

本資料に記載した次期の売上高、利益の予想数値は、業界の動向を含む経済状況、お客様の動向等、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としており、種々の不確実な要因の影響を受けます。実際の売上高および利益は、本資料に記載されている予想数値とは異なる場合があります。

平成18年3月期の業績概況

H18年3月期 業績状況(単独)

| | 金額 (百万円) | 売上比率 (%) | 計画比 (%) | 前期比 (%) |
|-------|-------------|-------------|------------|------------|
| 売上高 | 36,367 | — | 102.8 | 110.9 |
| 営業利益 | 4,216 | 11.6 | 102.8 | 104.4 |
| 経常利益 | 4,301 | 11.8 | 103.5 | 104.6 |
| 当期純利益 | 2,548 | 7.0 | 103.9 | 111.1 |

| 中間配当金(円) | 期末配当金(円) | 年間配当金(円) |
|----------|----------|----------|
| 20 | 40 | 60 |

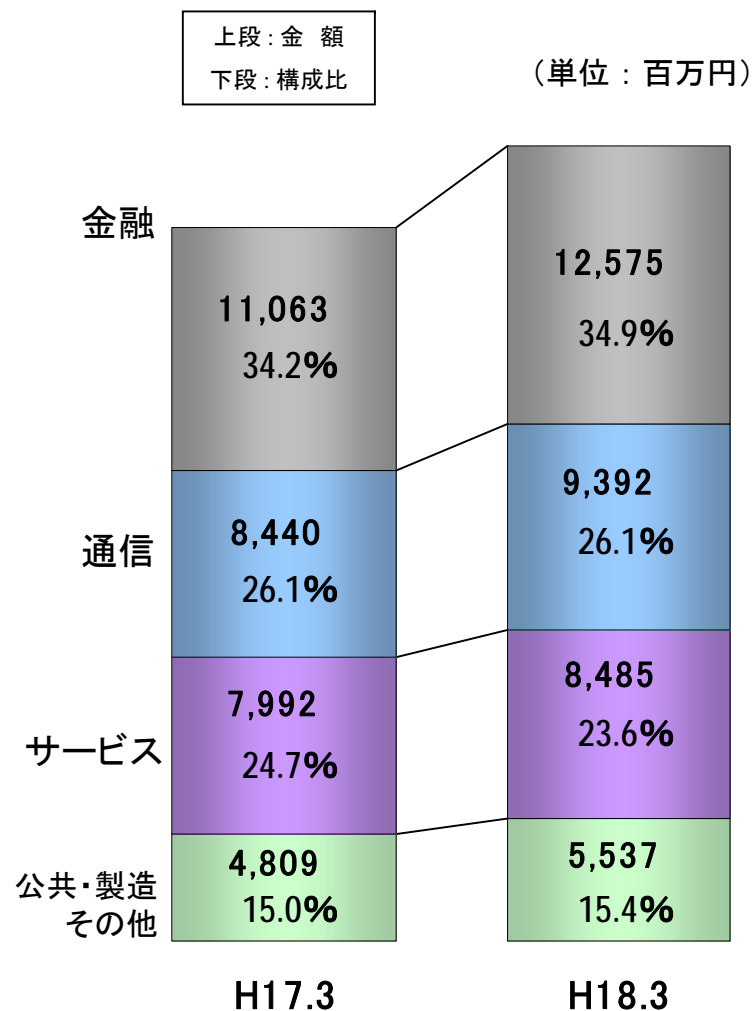
売上高、当期純利益額、年間配当金 過去最高

サービス別売上高の状況（単独）

（単位：百万円）

| | 実績 | 計画 | | 前期 | |
|---------|--------------------------|--------------------------|--------|--------------------------|--------|
| | (構成比) | (構成比) | 増減率(%) | (構成比) | 増減率(%) |
| 情報サービス | 35,991 (99.0%) | 34,979 (98.9%) | 102.9 | 32,305 (98.5%) | 111.4 |
| システム | 23,794 (65.4%) | 22,982 (65.0%) | 103.5 | 21,012 (64.1%) | 113.2 |
| オペレーション | 7,265 (20.0%) | 7,003 (19.8%) | 103.7 | 6,539 (19.9%) | 111.1 |
| ネットワーク | 4,930 (13.6%) | 4,993 (14.1%) | 98.7 | 4,753 (14.5%) | 103.7 |
| プロダクト | 375 (1.0%) | 399 (1.1%) | 94.0 | 482 (1.5%) | 77.9 |
| 計 | 36,367 (100%) | 35,379 (100%) | 102.8 | 32,787 (100%) | 110.9 |

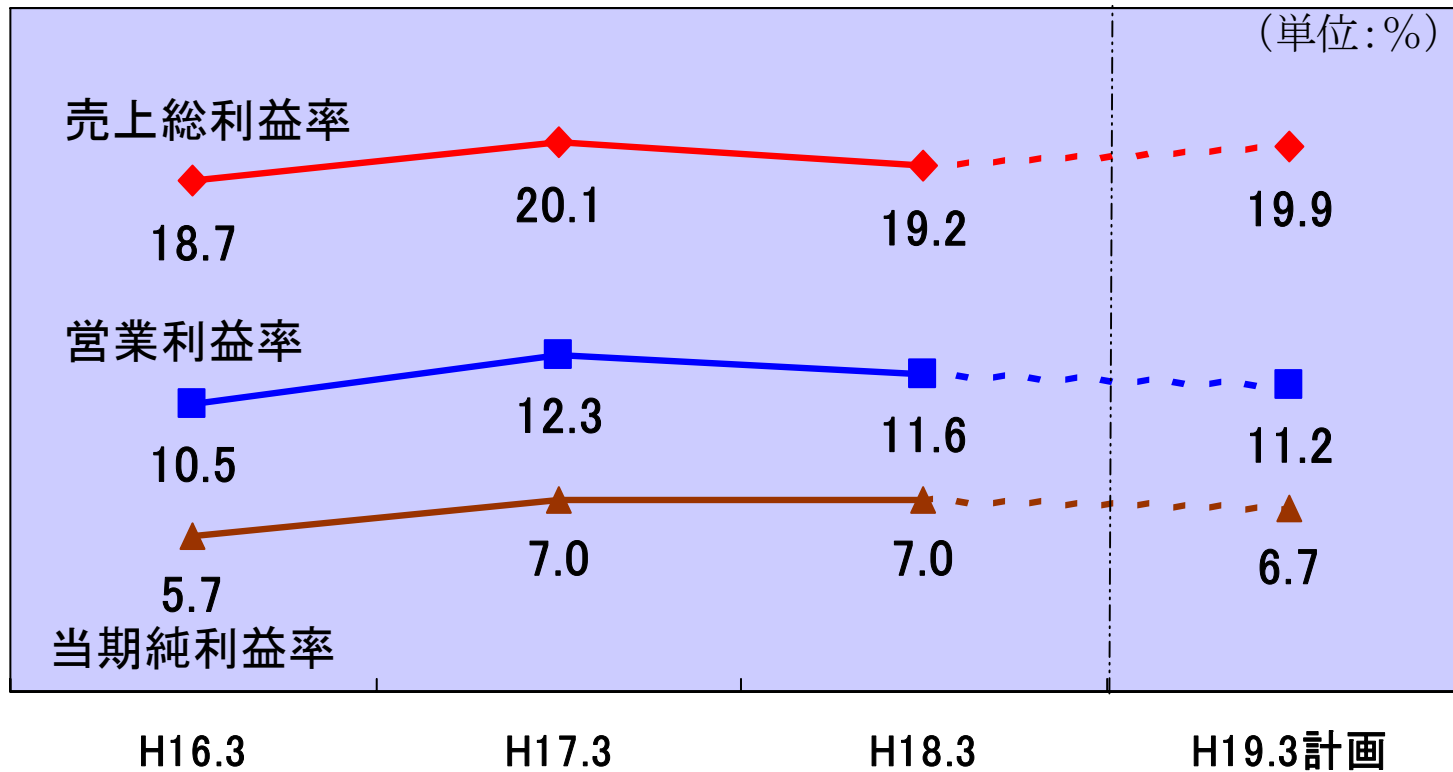
エンドユーザー別売上高（情報サービス）



- 金融**（前期比 113.7%、構成比 +0.7%）
 都銀の統合案件、信託銀行の年金関連業務等の増加
- 通信**（前期比111.3%、構成比 -0.0%）
 大型の運用案件の減少を社内システム開発、ICカードおよびiDCサーバ運用案件等でカバー
- サービス**（前期比 106.2%、構成比 -1.1%）
 大型の開発案件の減少を新規案件獲得でカバー
- 公共・製造その他**
 （前期比 115.1%、構成比 +0.4%）
 公共部門好調、小売業については主要顧客の減少があったものの、新規案件獲得で大幅増

- 全業種にわたり概ね好調
- 金融・通信の回復鮮明

利益率の推移 (単独)



当期純利益率は前期の利益率確保

売上総利益（単独）

| | H17. 3 | H18. 3 | 前期比 |
|---------|--------|--------|----------|
| 金額(百万円) | 6,605 | 6,975 | 105.6% |
| 売上比率(%) | 20.1 | 19.2 | △0.9ポイント |

◆ △0.9ポイントの要因

| | |
|-----------|-----------|
| 生産性向上等 | + 3.0ポイント |
| 間接コストの減少 | + 0.2ポイント |
| 外注単価引き上げ等 | - 2.9ポイント |
| 社員処遇改善 | - 0.8ポイント |
| 個別案件の採算低下 | - 0.4ポイント |

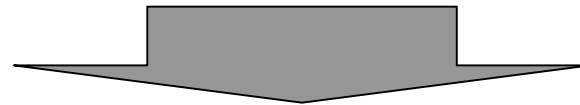
外注比率

$$\frac{\text{外注費}}{\text{(労務費+外注費)}} \\ \downarrow \\ 39.8\% \rightarrow 46.5\%$$

売上総利益額過去最高、下期は利益率改善 上期18.4%→19.8%

営業利益、経常利益（単独）

- 営業利益 4,216百万円
（前期比104.4%、利益率11.6%）
- 経常利益 4,301百万円
（前期比104.6%、利益率11.8%）



販管費 2,759百万円（前期比107.5%、売上比率7.6%）

- 採用関連費や教育研修費（PM増強）の増加
- コンプライアンスや環境対策強化
- 資本・業務提携の体制整備

→ 戦略的な費用の増加

当期純利益（単独）、配当金

- 当期は特別損益の計上が僅少

前期は、投資有価証券売却益85百万円（特別利益）
固定資産売却損 247百万円、事務所移転費用71百万円
（特別損失）



2,548百万円（前期比 111.1%、売上比率 7.0%）

1株当たり当期純利益 203.57円（前期：181.93円、前期比111.9%）

配当金5円増配（2006.4.27公表）→年間配当金**60円**（前期：55円）

子会社の通期業績

(単位：百万円、%)

| | データリンクス | | 九州DTS | | FAITEC | |
|-------|--------------|-------|--------------|-------|--------------|-----|
| | 金額 (売上比率) | 前期比 | 金額 (売上比率) | 前期比 | 金額 (売上比率) | 前期比 |
| 売上高 | 6,874 | 127.3 | 867 | 113.6 | 404 | — |
| 営業利益 | 363 (5.3) | 151.2 | 69 (8.1) | 168.5 | △9 (△2.4) | — |
| 経常利益 | 363 (5.3) | 150.6 | 73 (8.5) | 175.7 | △9 (△2.4) | — |
| 当期純利益 | 205 (3.0) | 139.9 | 43 (5.1) | 175.9 | △6 (△1.5) | — |

(注) 株式会社FAITECの営業開始日は、平成18年1月1日であり、同社の業績は同年3月31日までの3カ月分を集計したものです。

連結業績

| | 金額 (百万円) | 売上比率 (%) | 計画比 (%) | 前期比 (%) |
|-------|-------------|-------------|------------|------------|
| 売上高 | 42,952 | — | 103.5 | 113.2 |
| 営業利益 | 4,605 | 10.7 | 104.2 | 107.3 |
| 経常利益 | 4,676 | 10.9 | 104.7 | 107.3 |
| 当期純利益 | 2,655 | 6.2 | 104.8 | 112.3 |

※詳細は『決算短信』P5-7を参照

中期総合計画と平成19年3月期 の計画

中期総合計画のねらい

計画名称：「WINNING PLAN Second Stage
“Reaching Higher!”」

付加価値戦略から成長戦略へ



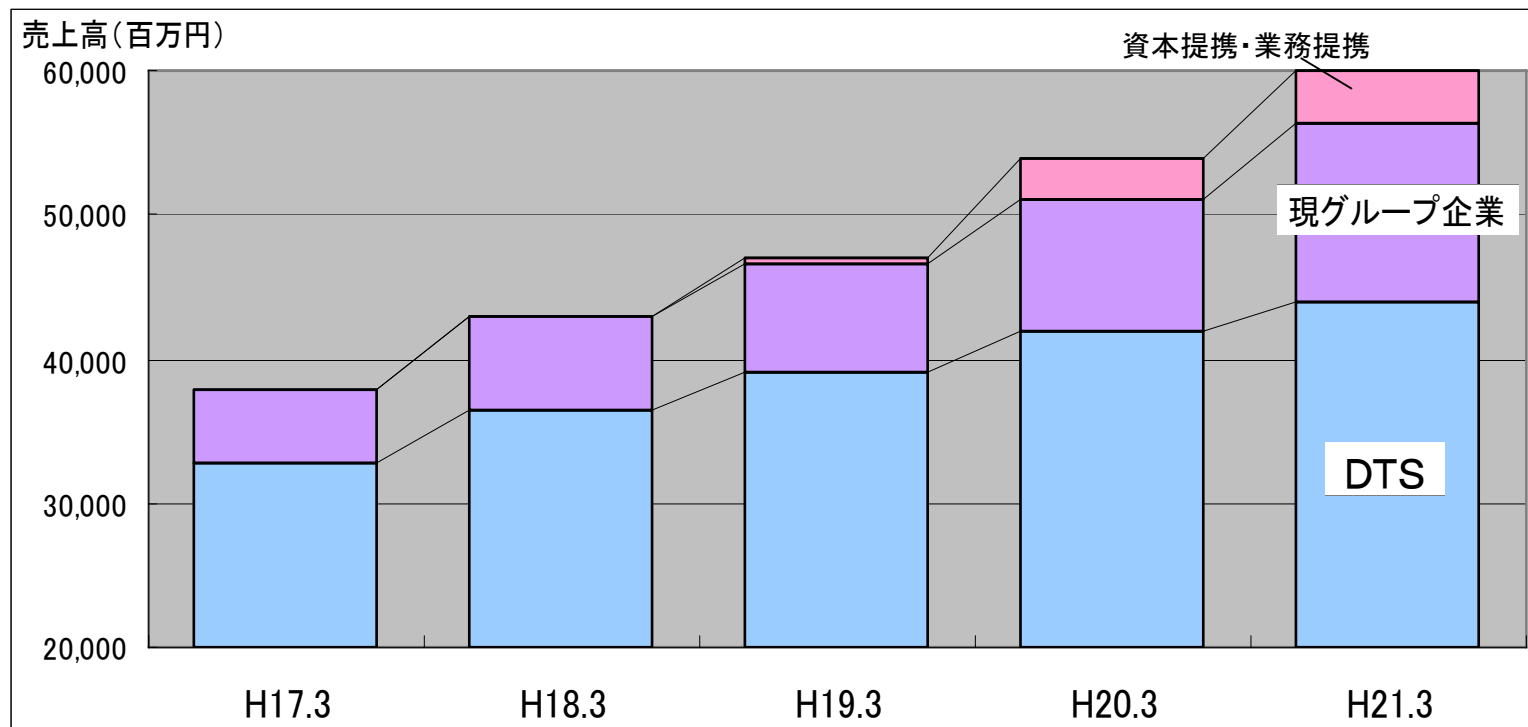
業界内でのポジショニング大幅アップ

「DTS WINNING PLAN '05」で確立した利益体質を維持しながら、

規模拡大を図る

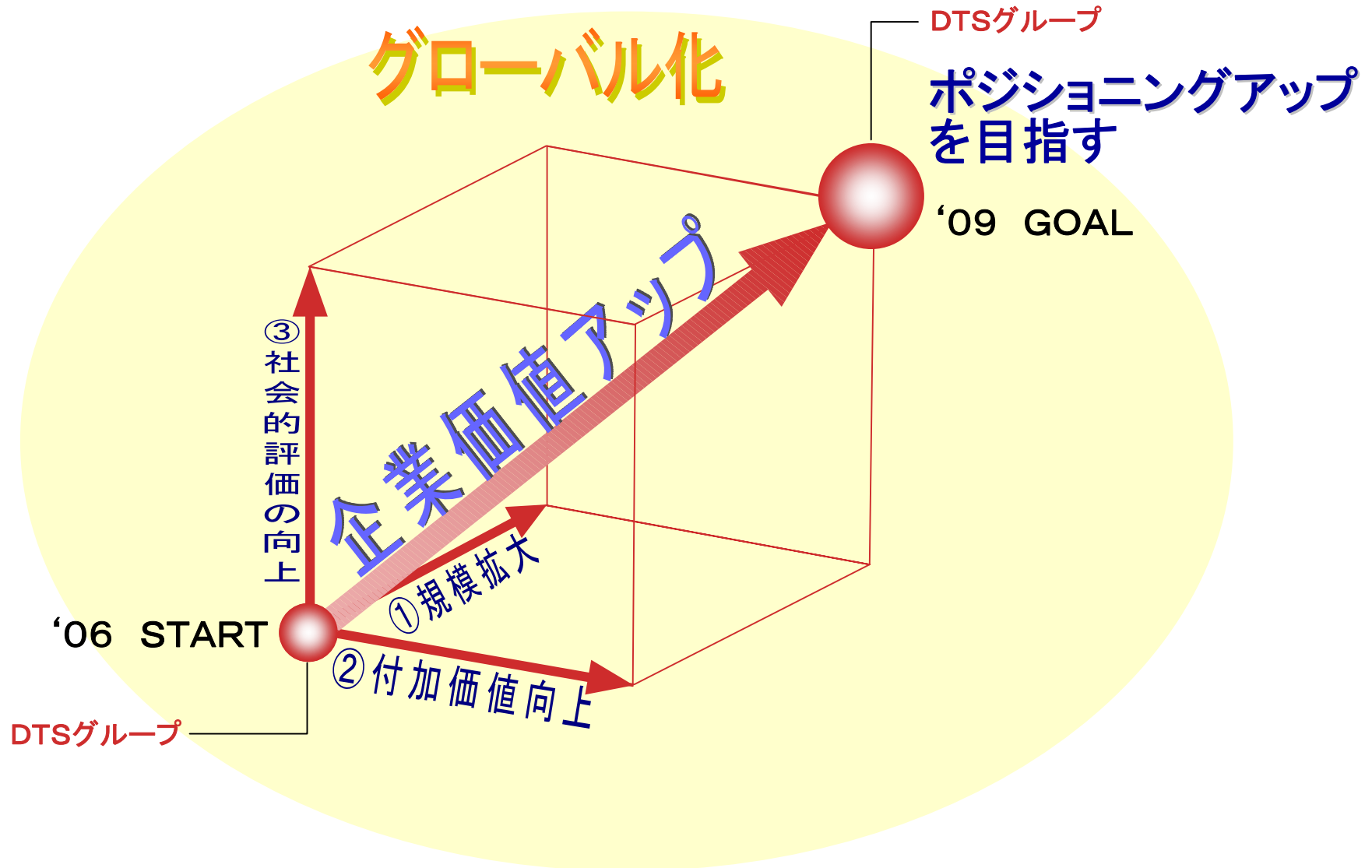
中期総合計画 経営目標

- 連結売上高 **600億円以上**
(売上高平均成長率+13% 資本・業務提携 100億円)
- 営業利益率 **10.0%以上**



(注)DTSの売上高は、FAITECへの業務切り出し分を含んでいます。

中期総合計画の概要



中期総合計画の課題

- 市況好転を受けた売上拡大
- タイトな労働市場でのリソース確保
- 流動化する業界内での地位向上
- グローバル化への本格対応
- ブランド力強化

規模拡大

- 国内外のビジネスパートナーとの連携強化
→ 外注比率5割、オフショア比率5%へ
- 資本・業務提携への積極的な取り組み
→ 3年間で売上の上積み100億円
- コアビジネスのさらなる強化
→ 既存優良顧客の投資意欲の確実な受け皿

付加価値向上

- プライム・SIの受注拡大
 - 上流工程での活動強化、ソリューションビジネス強化
- 新市場開発の推進
 - 新たなコアコンピタンスの創出、新事業会社の設立、先端技術への積極的な取り組み
- さらなる人財育成によるプロフェッショナル拡充
 - ITコンサルタント、ITアーキテクト 60名増／年
 - プロジェクトマネージャー（PM） 40名増／年
- プロジェクトマネジメントの可視化
 - プロセスごとの付加価値管理の強化

社会的評価の向上

- 顧客満足度の向上
 - きめ細かいニーズの把握、サービスレベルの向上
- 社員満足度の向上
 - 社員代表者制導入、社内コミュニケーション充実
- ブランド確立
 - PR、IRの推進
- CSRの推進
 - ステークホルダーを意識した良き企業市民

DTS本体の堅実な成長、高付加価値体質を エンジンとしたグループ経営元年

DTS → グループの中核として高付加価値維持、実質7%の成長確保

グループ会社の成長戦略

データリンクス → 10%以上の成長率を維持し、3年後売上高100億円


九州DTS → 安定成長を図り、3年後売上高10億円

FAITEC → 年金・保険関連のSI案件獲得を図り、3年後売上高50億円

RD → 利益体質定着を図りさらなる成長を目指し、3年後売上高11億円

SOLIDWARE → RFIDのソリューション事業の確立、H20.3期より黒字化

平成19年3月期の計画(単独)

| | 金額 | 売上比率 | 前期比 | | 金額 | 前期比 |
|-------|--------|------|-------|---|--------|-------|
| 売上高 | 35,709 | — | 98.2 |  FAITECを加味すると(概算) | 39,000 | 107.2 |
| 売上総利益 | 7,099 | 19.9 | 101.8 | | 7,560 | 114.5 |
| 営業利益 | 4,014 | 11.2 | 95.2 | | 4,450 | 105.6 |
| 経常利益 | 4,095 | 11.5 | 95.2 | | 4,530 | 105.3 |
| 当期純利益 | 2,406 | 6.7 | 94.4 | | 2,650 | 104.0 |

※詳細は『Fact Book』P16および『決算短信』P7-8を参照

子会社の通期計画

(単位：百万円、%)

| | データリンクス | | 九州DTS | | FAITEC | RD | SOLIDWARE |
|-------|---------------|-------|---------------|-------|---------------|--------------|-----------------|
| | 金額 (売上比率) | 前期比 | 金額 (売上比率) | 前期比 | 金額 (売上比率) | 金額 (売上比率) | 金額 (売上比率) |
| 売上高 | 7,664 | 111.5 | 900 | 103.8 | 3,595 | 691 | 32 |
| 売上総利益 | 893 (11.7) | 109.5 | 138 (15.4) | 98.9 | 506 (14.1) | 96 (14.0) | 9 (28.0) |
| 営業利益 | 409 (5.3) | 112.7 | 67 (7.5) | 96.3 | 256 (7.1) | △6 (△0.9) | △35 (△108.2) |
| 経常利益 | 392 (5.1) | 108.0 | 69 (7.7) | 93.8 | 256 (7.1) | △4 (△0.6) | △35 (△108.2) |
| 当期純利益 | 215 (2.8) | 104.5 | 41 (4.6) | 94.9 | 154 (4.3) | △2 (△0.3) | △19 (△59.5) |

(注) 株式会社FAITECは、前期が3カ月決算であるため前期比を記載していません。

株式会社アールディーは、今年度に決算期を変更するため前期比を記載していません。

株式会社SOLIDWAREは、平成18年4月25日設立の会社であり、前期比を記載していません。

連結計画

| | 金額 (百万円) | 売上比率 (%) | 前期比 (%) |
|-------|-------------|-------------|------------|
| 売上高 | 46,538 | — | 108.3 |
| 売上総利益 | 8,744 | 18.8 | 110.1 |
| 営業利益 | 4,691 | 10.1 | 101.9 |
| 経常利益 | 4,723 | 10.2 | 101.0 |
| 当期純利益 | 2,622 | 5.6 | 98.8 |

※詳細は『Fact Book』P16および『決算短信』P7-8を参照

配当の基本方針

安定・継続的に一定額を実施

+

今後の事業展開に必要な内部留保を考慮しつつ、
業績に応じて増額

平成19年3月期の計画

| 中間配当金(円) | 期末配当金(円) | 年間配当金(円) |
|----------|----------|----------|
| 20 | 40 | 60 |

中期経営ビジョン

お客様のかけがえのない
パートナーとして

独自のソリューション
感動を与えるサービスを心がけ

社員一人ひとりが能力を高めながら
光り輝く個性を発揮し

常に未来を志向して
持続的な成長を目指す
良き企業市民グループ